

公共事業等施行状況調（令和4年1月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (1月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		3年度 C	C/A	2年度 D	D/B	
		3年度	2年度	3年度 A	2年度 B					
1	治山・治水	26,343	26,588	17,240	17,932	13,263	76.9	13,495	75.3	
2	農林・水産	33,546	34,442	25,822	26,806	21,443	83.0	21,150	78.9	
3	道 路	59,093	56,264	38,142	35,220	33,145	86.9	31,110	88.3	
4	港湾・空港	7,164	6,938	3,453	3,712	3,213	93.0	2,660	71.7	
5	下水道・公園	9,647	8,551	2,400	2,314	2,204	91.8	2,016	87.1	
6	住 宅	2,513	2,090	2,085	1,680	1,280	61.4	1,375	81.8	
7	庁 舎	3,609	1,320	3,342	1,197	1,898	56.8	795	66.4	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	19,169	14,181	15,607	11,509	8,029	51.4	3,858	33.5	
11	工業用水・上水道等	1,034	1,042	106	89	97	91.5	81	91.0	
12	災害復旧	1,088	190	1,072	132	922	86.0	127	96.2	
13	その他	9,033	11,435	6,550	8,056	5,053	77.1	6,407	79.5	
	計	172,238	163,043	115,820	108,648	90,547	78.2	83,073	76.5	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和4年1月末）

（単位：社、件、百万円、％）

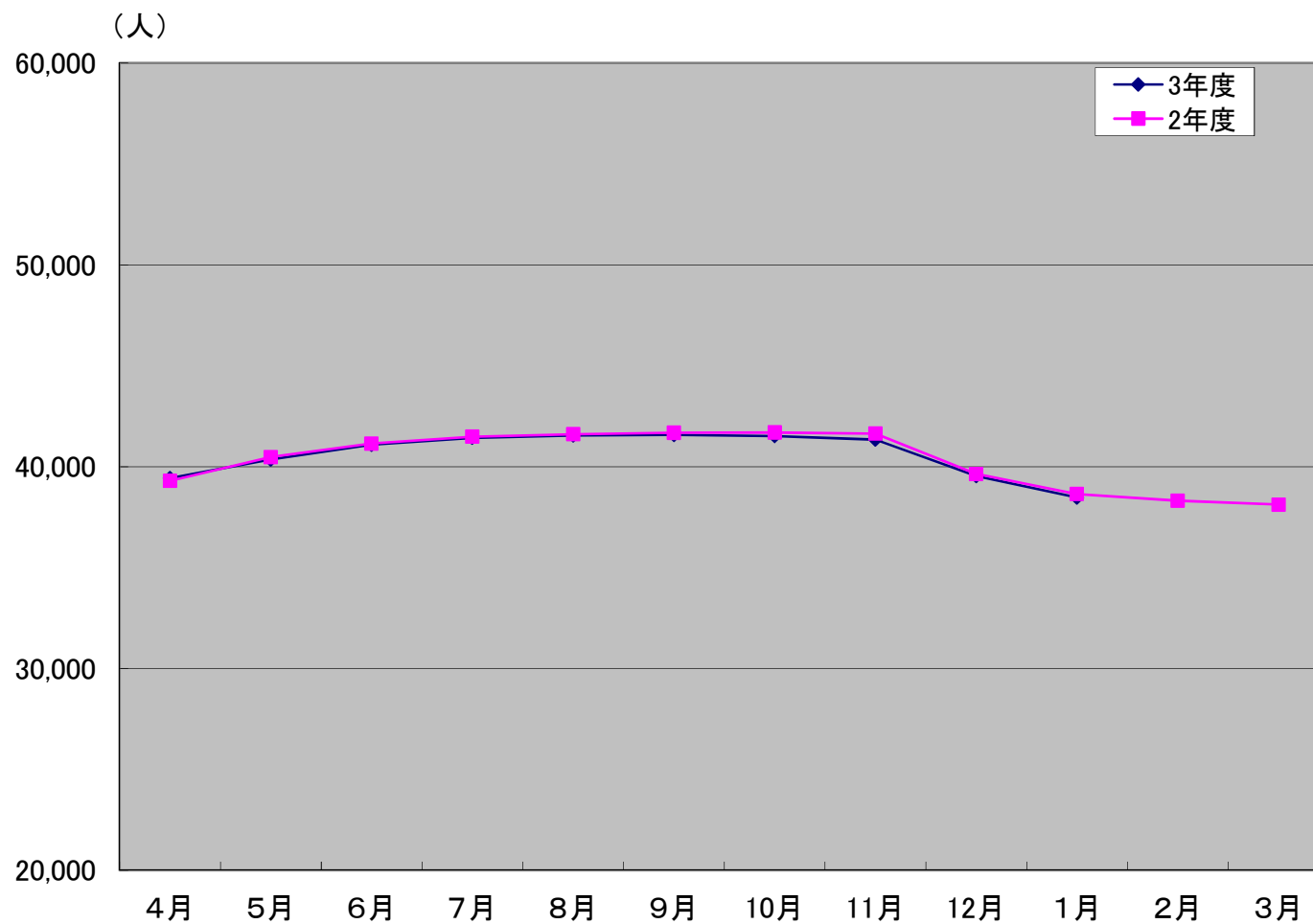
事 項	予 算 措 置 額 (A)		発 注 実 績 合 計 (B)											
			県 内 (C)			県 外 (D)			共 同 企 業 体 (E)					
区 分	事業費	本工事費	指名 業者等	契 約	金 額	指名 業者等	契 約	金 額	指名 業者等	契 約	金 額	指名 業者等	契 約	金 額
3年度	172,238	115,820	27,188	2,846	90,547	26,575	2,725	79,729	536	99	5,093	77	22	5,725
					78.2	97.7	95.7	88.1	2.0	3.5	5.6	0.3	0.8	6.3
前年度比	105.6	106.6	104.3	108.6	109.0	104.7	108.8	110.2	96.2	116.5	126.5	67.0	71.0	85.4
2年度	163,043	108,648	26,064	2,621	83,073	25,392	2,505	72,348	557	85	4,025	115	31	6,700
					76.5	97.4	95.6	87.1	2.1	3.2	4.8	0.4	1.2	8.1

被保険者数

	3年度	2年度
4月	39,424	39,303
5月	40,359	40,467
6月	41,085	41,148
7月	41,421	41,492
8月	41,541	41,611
9月	41,577	41,687
10月	41,516	41,689
11月	41,333	41,636
12月	39,528	39,646
1月	38,465	38,642
2月		38,307
3月		38,119

前月末被保険者数	39,528
資格取得者数	370
資格喪失者数	1,436
転入者数	9
転出者数	6
今月末被保険者数	38,465

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)12月末



建設資材の需給・価格動向調査 (4年1月)

	需給動向									価格動向									備 考							
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均			
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の11月の販売量は3万6千トン(セメント協会調べ)で前年同月比6.7%の減。メーカー各社は、石炭価格の高騰などを受け、2,000円以上の値上げを表明。大幅な値上げに、主たる需要家の生コンメーカーは、製造コスト増への危機感を強め、値上げに対し慎重な姿勢をとっている。メーカーは強腰の販売姿勢を見せているが、本格的な交渉には至っていない。先行き、横ばいの見通し。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○			道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや減少している。コンクリート製品メーカー各社は、製造・輸送コストの上昇を理由に値上げを打ち出していたが、セメントメーカー各社の値上げ表明を受け、さらに製造コストが増加することに対する危機感を募らせている。需要家は値上げに難色を示しつつも安定調達を優先する姿勢。先行き、強含みの公算が大きい。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の12月の出荷量は4万3千m3(生コン工組調べ)で前年同月比18.8%の減。県内全体の生コンの需要が低調に推移している。こうしたなか、セメントメーカー各社が2,000円以上の値上げを表明。一部の生コンメーカーは原材料費が高騰しているとして、来年度に向けての値上げを打ち出した。しかし、需要家は工事量の伸び悩みを受け値上げに難色を示している。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕石		○			○			○			○			○			○			○			○			生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。一部メーカーは運転手不足や燃料油高が輸送コストを押し上げているとして、来年度から値上げの意向を示している。しかし、主な需要家の生コン・コンクリート製品メーカーはセメントの値上げを理由に、すぐには値上げに応じられないという姿勢である。そのため、交渉は難航することが予想され、先行き、横ばいで推移する公算が大きい。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○			SD295・D16でトン当たり97,000円と変わらず。原料である鉄スクラップは下落しているが、依然として高値圏で推移しており、電力料金や副資材価格なども上昇している。こうしたなか、採算悪化に強い危機感を抱くメーカー各社はこれまでの値上げ姿勢を崩さず、さらなる値上げを表明した。しかし、商いが盛り上がり欠け状況下での値上げに、需要家は難色を示している。メーカーと流通筋は、未達分の早期浸透に向けて強い販売姿勢を維持する構え。目先、強含みの公算が大きい。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○			12月の県内出荷量は5万7千トン(含材協会調べ)で前年同期比14.0%の減。維持修繕など小規模工事中で、需要は低調に推移している。メーカー各社は、スタアス価格の上昇分や燃料費の高止まりによる輸送コスト増加分を転嫁すべく、値上げ交渉を継続。需要家は、メーカーの状況には理解しつつも、値上げ受け入れには慎重な姿勢を崩していない。年度末に向けて需要が伸びる期待は薄く、先行き、横ばい推移の公算が大きい。
木 材		○			○			○			○			○			○			○			○			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり126,000円と前月比変わらず。11月の県内新設住宅着工戸数は559戸で前年同月比1.9%の減少(国土交通省調べ)、ウェイトの高い持家が前年同月比15.4%の増加、それに次ぐ貸家は同30.5%の増加だったが、分譲住宅が同59.6%減少した。冬場に入り製品供給が回復傾向で、流通筋の在庫状況も改善している。年末年始をはさみ品薄拡大に対する懸念が弱まったことで、市場の先高観は払拭されてきた。目先、横ばいの見込み。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミニローリー渡りでリットル当たり114円、重油はローリー渡りで75円とともに5円の下落。新型コロナウイルス変異株の感染拡大とともに世界的な景気減速懸念が広がり原油相場は下落。これを受け、元売り各社は仕切価格を引き下げ、流通筋も販売価格の見直しを進めた。変異株の感染拡大は続いているが、世界経済に及ぼす影響は限定的との見方があるうえ、主要産油国は2月も追加増産を行わず従来の方針維持を決めたため、直近の原油相場は上昇。目先、強含みの見込み。
型枠合板			○			○				○				○						○					○	12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,800円と前月比50円の上伸。12カ月連続の値上がりとなった。現地工場の稼働率低下や雨季による原木不足が続いているため入荷量が回復せず、市中在庫は依然として低水準のまま推移。さらに原木や接着剤の高騰を背景に現地価格が上昇傾向で、流通筋は採算を確保するために仕入れ上昇分の価格上乗せを徹底している。市場では需給のひっ迫が続くものとみられており、目先、強含み。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり114,000円と前月比前月比変わらず。加工を絡めた東北管内の大型建築工事向けが堅調に推移しているものの、中小建築工事が依然として振るわず、商況は盛り上がり欠けている。鉄スクラップは値下がりしているが、メーカー各社は価格優先の販売姿勢を維持。流通各社も採算悪化の回避に向けて売り腰を強め、交渉を継続していく構え。目先、強含みで推移する公算が大きい。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (4年1月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	36,000	0.0	36,000	0.0	36,000	0.0	36,000	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	13,000	0.0	11,800	0.0	14,600	0.0	13,133	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	4,300	0.0	3,467	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	0.0	4,067	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	0.0	2,900	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	125,000	0.0	125,000	0.0	125,000	0.0	125,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	97,000	0.0	97,000	0.0	97,000	0.0	97,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	102,000	6.3	102,000	6.3	102,000	6.3	102,000	6.3	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,800	0.0	13,100	0.0	12,700	0.0	12,867	0.0	128,670円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	126,000	0.0	126,000	0.0	126,000	0.0	126,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	114.0	-4.2	114.0	-4.2	114.0	-4.2	114.0	-4.2	114,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	75.0	-6.2	75.0	-6.2	75.0	-6.2	75.0	-6.2	75,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,800	2.9	1,800	2.9	1,800	2.9	1,800	2.9	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	114,000	0.0	114,000	0.0	114,000	0.0	114,000	0.0	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

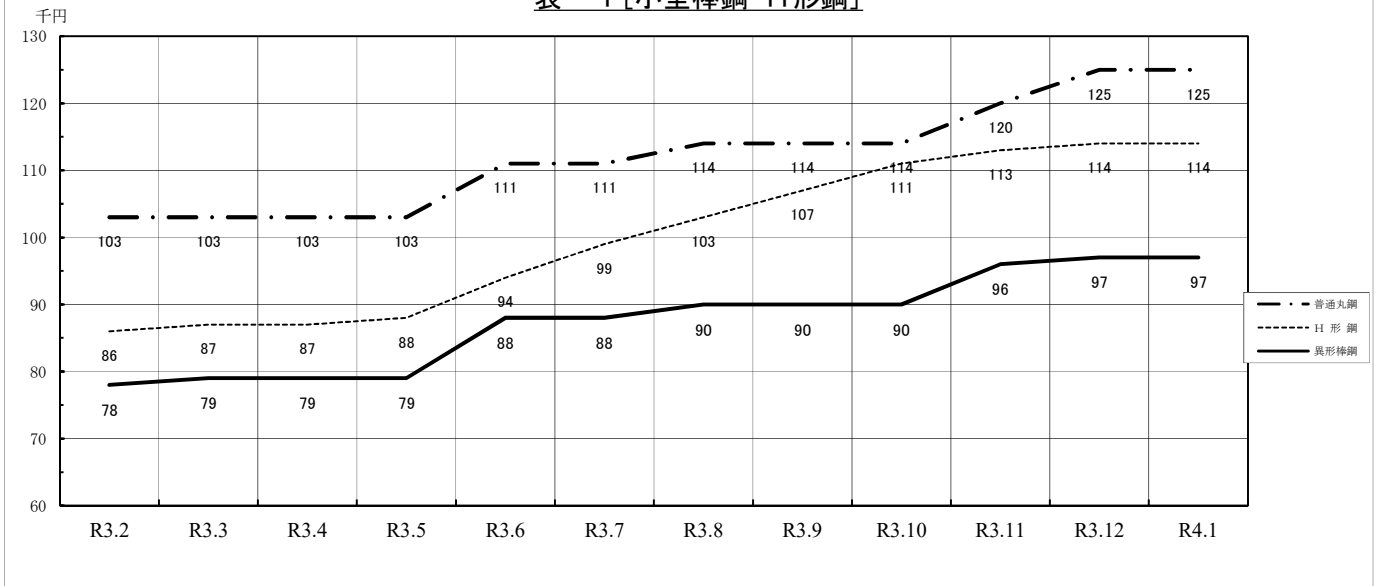


表-2 [セメント・生コン]

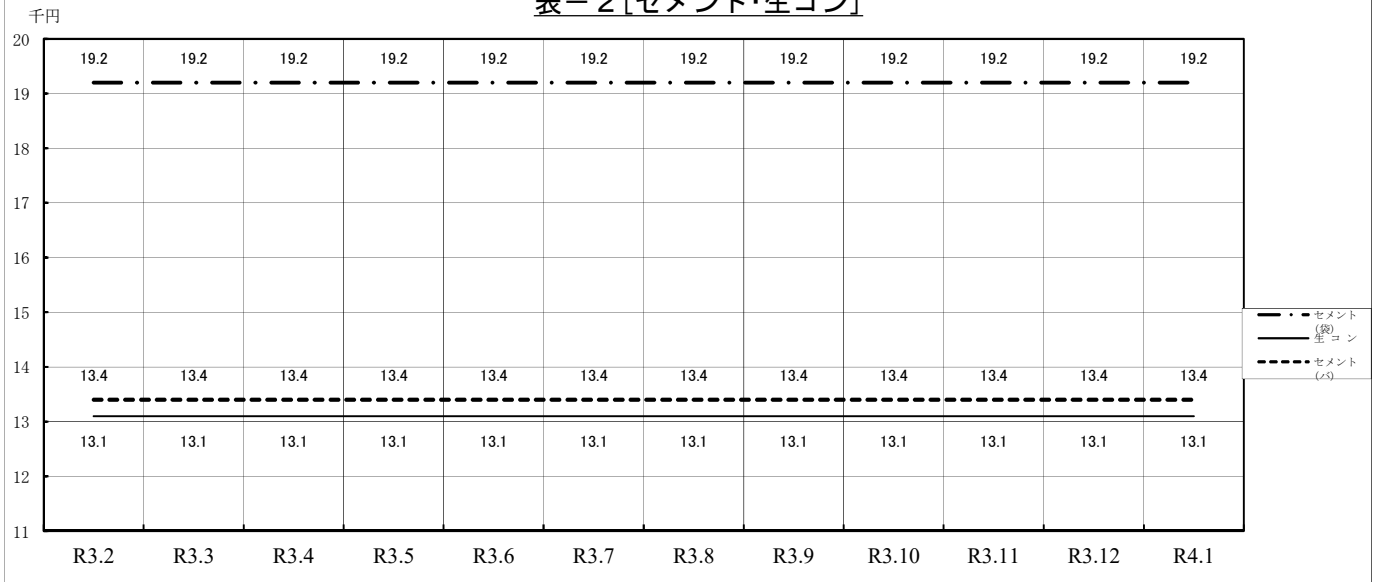
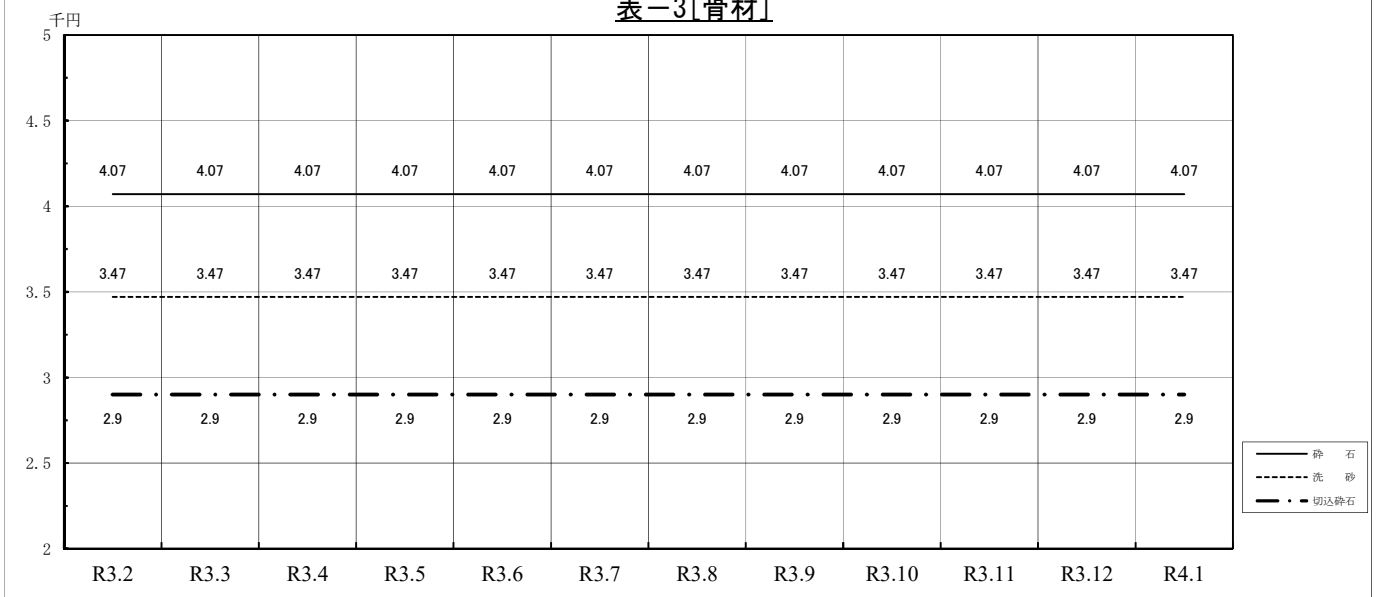


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

